

ゴミ袋 **10枚が5,310円**になったら、^{注1}
一人当たり**6万2千円**の増税になったら、^{注2}
教科書や、授業料が**有料**になったら、
どうしますか!?

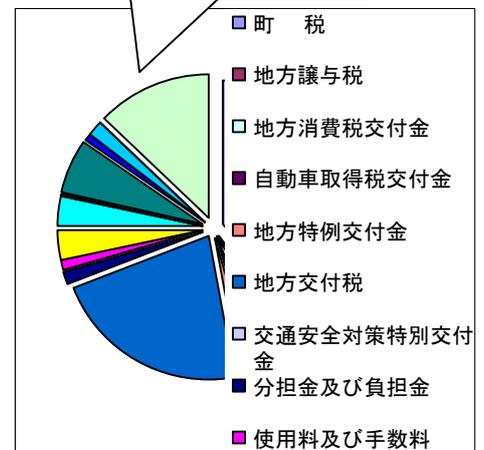
そんなバカな!

と言うだけでは

済まないかもしれません

何故なら、いま日本には、**約700兆円**という
途方もない借金があるからです。そして、その
借金を返すために、借金を繰り返すという状況
におちいつているのです。

美和町の歳入(収入)
自分のところでまかなっ
ている(自主財源)のは
50.66% (H14 一般会計)



今の私たちの生活は、その借金の上になりたっています。

ゴミの収集などは、その際たるもので、大半が**補助金**でまかなわれています。
もし、もう回すお金がなくなったから、これからは**実費を徴収**しようということになったら、**10袋5,310円**ということも充分有り得ます。国から町への**補助金(交付税)**が**カット**されることになれば、まともな暮らしができなくなるかもしれません。

町への補助金が出せないくらいだから、場合によっては、小中学校の**教科書代や、授業料を払わなければならない**、こんなことも起こらないとは言えないのです。その前に**大幅な増税**になるとと思いますが・・・

こんな問題、自分と関係ないとお思いの方もみえるかもしれませんが。確かに、今のところ何とかなっているのだから、これからは何とかなるという考え方もあります。しかし、確実に**破綻は目の前**に来ているのだと思います。私たちのこれからの選択がとても大切になります。

一度、**自分の問題**として、この**借金の問題**を考えてみませんか?。

といっても、分かりにくい話なので、
一家の家計として考えてみました。

次のページで

注1. ゴミ袋の単価は H10 年度の塵芥処理費の実績から
注2. H13 年度の美和町の地方交付税分を人口で割った金額

横井としおのまじめ話

Vol
1



もしあなたの家が、7000万円の借金があって、年収は500万円で、一家の家計費が年間800万円かかるとしたら。足りない分の300万円は借金を重ねることでしのいでいます。しかも、家族は病気がちで、180万円ほど年に治療費を払っている。そんな家だったとしたら、未来に希望を持つことができますか？ 今まさに日本がこういう状況なのです。



現在、国と地方の借金である公債残高は、700兆円ほどと言われています。一家の年収に相当する税収は、約50兆円、そして、家計費に相当する財政支出は、80兆円を越えています。足りない分は国債という形で、毎年借金を増やし続けていることは、新聞やニュースで何度となく聞いているかと思います。

700兆円を日本の人口の1億2千万人で割ると、一人当たり約583万円。

お金がなくなって、どうしても借金(国債)返さなければなくなりました。

**一人583万円、4人家族なら2,332万円払ってくださいなんて突然言われたら・・・
どうします？**

突然こうなる事はないと思いますが、いつかは返さなくちゃいけないのですから、おそらく**増税**ということになるのでしょう・・・

さて、こんなすごい借金を抱えて平然としていられるわけではないですから、何とかしなきゃ、ということになりました。とにかく入ってくるお金以上に使うことはやめよう。まずはそこから始めようと考えました。ところがこれがなかなか難しい。

家計費の内訳を見ると、まず、借金の返済利子(国債)が170万円あります。地方に出て行っている子供の仕送り(地方交付税)が、やはり170万円あります。改築費(公共投資)にも80万円以上使います。教育費にも70万円近くかかっています。セキュリティ(防衛費)にも50万円ほどのお金がかかっています。そうそう、保険代や医療費(社会保障)で180万円以上かかっています。あとは、もろもろの支払いで消えていきます。今のままでは、とても収入の範囲内では暮らせそうにありません。

おもいきって支払いを削らなきゃ生きて行けそうにない、いろいろなことを考えました。

その中のひとつに、「そうだ、地方にいる子供達(市町村)が、今はばらばらに生活しているから仕送りに要るけれど、何人かが一緒になれば、彼らの家計費も安く上がるし、生活力(自主財源)もついて、それほど仕送りもいらなくなるだろう。」と・・・

どうも話が、この家庭の子供(地方自治体・市町村)へ向けられてきたようです。

それでは**美和町の財政(家計)**のことを少し考えてみましょう。

分かりやすくするために、金額の単位を1000分の1にしてみました。

さて、平成14年度の美和家の家計費は630万円ほどの予定でした。内訳はというと、自分のところでまかなっている(自主財源・町税や使用料など)収入が、320万円、実家(国)やお兄さん(県)からの仕送り(地方交付金・支出金など)が230万円、借金(町債)も80万円はしなければならぬ状況です。ちなみに、今までの借金(町債)残高は、540万円になります。

実際の金額は町民一人当たり22万5000円の借金です。

4人家族なら900,000円になりますよ

実は、今年からはやすでに、実家からの仕送りは切り詰められてて30万円ほど減らされているのです。そかわりに、後で払うから、借金(町債)を足りない分増やして、やり繰りしてくれということなのです。

実家(国)は払ってくれるのでしょうか？

仕送りはこれからどんどん減るのでしょうか？

どうも美和家も安閑としているわけにはいかなくなってきたようです。



「このままで良いのでしょうか!？」

こんな途方もない借金王国は、世界中でも日本しかありません。

しかし私たちはこの国で生きていかなければなりません。

子供たちには、やはり実りある未来を残していきたいと考えています。

もう遅いのでしょうか？

そんなことはないと思います。これから私たちがどう生きるかによって、未来は決まるものだと思います。

今回は「どうしてこうなったのだろう」というテーマで。

皆様のご意見をお聞かせください

- このパンフレットを読んで、
びっくりした 興味がわいた つまらない
面白かった 続きがみたい 二度と見ない
- 美和町の行政に満足されていますか？
はい いいえ どちらともいえない
- 行政のどこに一番関心がありますか？
市町村合併 教育問題 環境問題
ゴミ問題 福祉・介護 政治・議会
下水道 道路・歩道 駅前開発 公共料金
- ご意見

- 横井としおの後援会に
入会する 支持するが入会しない 支持しない

ご住所：〒490-
美和町大字

お名前 _____ 年齢： _____
電話番号： _____
e-mail： _____